

黒岩探訪

たんぼう

13

KUROIWA
くろいわ

ユリノキ

本校に赴任してから初めてこの樹木名を聞きました。それまで、「ユリ」ではなく「ユリノキ」という木があることを知りませんでした。

このユリノキが校庭西側に二本、南側に二本、計四本植えられています。校舎四階の音楽室の窓から見るとほぼ同じ高さのものとそれ以上のものがあることがわかります。樹高は十数メートルというところでしょうか。成木になってからの移植は難しいそうです。昭和56年の現在の校舎新築の際、植樹されたものかもしれません。とすると樹齢約三十年と想像されます。

先日三年生が総合的な学習の時間「里山図鑑をつくろう」の単元で植物等を調べて班ごとにまとめていました。どこかの班で「ユリノキ」を取り上げていないかと見てみましたが、校庭に生えているものは取り上げなかったようでした。

代わりに『葉っぱでおぼえる樹木』濱野周泰 柏書房より説明を引用します。「ユリノキ 北アメリカ原産の落葉高木。日本では公園樹や街路樹として植栽される。高さ20、30メートル、直径5、百センチメートルになる。花期は五、六月。枝先にチューリップのような緑色でオレンジ色の帯がある花をつける。独特な葉の形を半纏（はんてん）に見立て、ハテンボクという別名もある。また、花の形からチューリップ・ツリーともよばれる。」

また、新宿御苑のウェブページには「ユリノキは、明治20、30年代に日本で初めて新宿御苑に植えられたといわれています。」とありました。

富岡小学校にもあるそうですのでよく探せばまだあるかもしれません。個人的には、珍しいものかと思いましたが、今回ここに載せてみました。黒岩小学校に植えられた経緯等ご存じの方がおりましたらお知らせください。学校によってはシンボル・ツリーがありますので、将来この木が本校のシンボルになるかもしれません。

運動会等で本校へお越しの際、樹木を確認してみてください。



写真1 4本のユリノキ（○印）



写真2 ユリノキ(昨年5月18日撮影)



←写真3
ユリノキの花
(今年5月
23日撮影)